

# 高校生議会を開催

～住み続けたくなるまち 盛岡市を目指して～



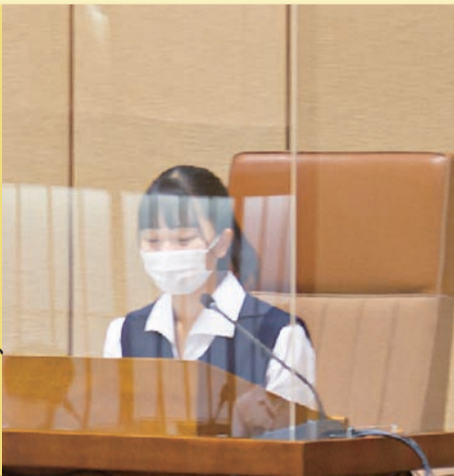
選挙権年齢の引き下げに伴い、若者の選挙や政治、市政への関心を高めることを目的として、7月27日に本市議会3回目の高校生議会を開催しました。市立高校の生徒16人が議員となり「住み続けたくなるまち盛岡市を目指して」を共通テーマに議論しました。

今回は感染症対策として、高校生と同席する市議会議員は最小限の人数とし、ほかの市議会議員はタブレット端末を使い、中継映像を別室で視聴する形式で参加しました。

## 01

### 高校生議会開会

伊藤千央議長が議場で開会を宣言し、会期を1日と決定した後、共通テーマの提案理由の説明を受け、食品ロス解決、誰もがいきいき、ヘルスツーリズム推進、エネルギーまちづくりの各委員会に付託しました。



## 02

### テーマについて各委員会で協議



各委員会が所管する分野ごとに、共通テーマについて委員長を中心に話し合いました。委員がそれぞれ意見を出し合い、協議の上提言をまとめ、意見書として提出することを決定しました。

## 03

### 委員長による本会議での報告

議場に戻り、各委員会が提出した意見書の内容を、各委員長が登壇し、報告しました。



## 04

### 各委員会の提言を採決



各委員長が報告した意見書を発議案とし、出席議員で採決を行いました。発議案は全て賛成全員で、原案のとおり可決されました。

## 高校生議員の提言

### 食品ロス解決委員会

- ・食品ロスゼロの町を目指したポスターの作成や学習会の開催
- ・規格外品や廃棄される野菜などをSDGs実践企業に活用してもらい、廃棄コストを削減



### ヘルスツーリズム推進委員会

- ・ヘルスツーリズムを市の事業として実施
- ・ヘルスツーリズムを通じた世代間交流の拡大
- ・つなぎ温泉などの観光施設をヘルスツーリズムに活用し、にぎわいを創出



### 誰もがいきいき委員会

- ・バス乗降口を階段からスロープに変更
- ・不登校生徒などが対象のオンライン教育の充実
- ・県外に進学や就職をした若者が岩手に戻って子育てしたいと思えるような環境整備



### エネルギーまちづくり委員会

- ・雷の電気エネルギーを蓄電池に貯め、災害時に電気が必要な家庭で利用
- ・中津川の水流を利用した「流水発電」と雪の重さを利用した発電施設の設置





## 議長・委員長のつがやき



食品ロス解決委員長  
田沼 直剛さん(2年)

今回の経験を今後  
生かしていきたい

少数意見も尊重しながら、話し合いが組み立てられていく議会の仕組みに興味がありました。トライ＆エラーを繰り返しながら、周囲の人に目を配ったり環境に配慮したりする社会にしていきたいです。



議長  
伊藤 千央さん(2年)

若者の声にはまちは  
変える力がある

つなぎ温泉という観光資源を生かし、高齢者の健康増進と同時に、郊外のにぎわいづくりにつなげられたら良いと考え、提言しました。真剣に考えた意見を議員の皆さんに認めてもらい、若い世代でもまちを変えられると思えました。



ヘルスツーリズム推進委員長  
関 貴哉さん(2年)

これからもさまざまな  
交流を続けたい

将来国際交流に関わる仕事に就きたいと考えています。多様性を深く学ぶために、積極的に委員会活動などに参加し、さまざまな人の意見に耳を傾けることを心掛けています。今回の話し合いは良い経験となりました。



誰もがいきいき委員長  
羽澤 安里彩さん(2年)

若者たちよ、もっと  
社会に目を向けよう！

総合学習でSDGsを知り、社会の不平等をなくしたいと思い、そのための力をつけるために生徒会長になりました。世の中を良くするため、どんどん声をあげていきたいです。議員の皆さんに、若者の声をもっと聴いてほしいです。



エネルギーまちづくり委員長  
高橋 琉生さん(2年)

自分の意見を積極的に  
発信する自信がついた

委員長として高校生議会に参加してみて、自分たちの意見が話し合いによって発展していくことの良さを感じました。これまでは自分の意見を発信することをためらっていましたが、今後は積極的に自分の意見を発信していきたいです。

# 常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案、2年度各会計決算および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、27日の本会議で報告しました。

## 総務 常任委員会

3年度一般会計補正予算など議案4件と、2年度一般会計歳入歳出決算など認定6件について審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、継続審査中の政府と憲法審査会に対し改正国民投票法に関する要請を求める請願など請願2件は、不採択とすべきものと決まりました。

### 【認定第5号】

令和2年度盛岡市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算について

**問** 国民健康保険の財政健全化に向け、医療費抑制が重要である。特定健診や人間ドック、訪問保健指導などの事業にさらに力を入れるべきだが、コロナ禍が事業に与える影響は。

**答** 感染拡大により対面での活動が難しく、現在は訪問保健指導を延期している。今後はリモート開催や啓発動画配信などの手法も含め、迅速かつ市民に負担のない形で実施できるよう検討する。

## 教育福祉 常任委員会

3年度一般会計補正予算など議案4件と、2年度一般会計歳入歳出決算、介護保険費特別会計歳入歳出決算など認定5件について審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、コロナ禍収束に向けた盛岡市独自の対策に関する請願については、不採択とすべきものと決まりました。

### 【議案第84号】

令和3年度盛岡市一般会計補正予算(第5号)

**問** 新型コロナウイルスワクチンの接種率向上には、集団接種を推し進める必要があり、現行の1カ所では不足している。他都市の例を参考に、大型ショッピングセンターで接種するなど、会場を増設しては。

**答** 現行の集団接種に加え、6カ所の医療機関で土日に集団接種を実施することで、新たに7280人が接種可能となった。今後も医療機関に働き掛け、早期にワクチンの接種ができるよう努める。

## 産業環境 常任委員会

3年度一般会計補正予算など議案3件と、2年度一般会計歳入歳出決算など認定4件について審査しました。審査の過程で、粗大ごみ処理施設におけるカセットボンベの混入による爆発事故への対応と再発防止策などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

### 【認定第1号】

令和2年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

**問** 起業家塾@もりおかは盛況だったと思うが、定員と応募人数、今後の定員拡大への所見は。また、参加者の声を踏まえた今後の改善の方向性は。

**答** 前期と後期で各16人の定員に対して、前期29人、後期26人の応募があった。今後は、希望者が漏れなく受講できるよう定員の検討を行うほか、参加者からの要望を踏まえた企画の実施に取り組むなど、事業の改善に努める。

## 建設 常任委員会

3年度一般会計補正予算など議案5件と、2年度一般会計歳入歳出決算など認定6件について審査しました。審査の過程で、仮称前潟駅の今後の整備スケジュール、自転車走行空間整備工事の内容と今後の整備予定などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

### 【認定第1号】

令和2年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

**問** ブロック塀の安全対策補助金の内容と2年度の実績は。また、倒壊の恐れがある塀の把握状況と、速やかに改善するための取り組みは。

**答** 撤去工事に係る金額の3分の2について、上限20万円まで補助するもので、2年度は6件の補助を行っている。市内の危険箇所69カ所を把握しており、撤去工事のほか改修工事に対する補助制度についても今後検討する。